

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮国際中等教育学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 単元ごとの学び意義が、生徒の学びに与える影響を質的に分析することが求められている。 <指導上の課題> 生徒の目的意識を高める課題設定と、指導改善に向けた情報活用の体制整備が課題である。	生徒目線を取り入れた授業改善に向け、各教科会で重点項目を検討・決定する【6月】。自己評価や振り返りを通じて研究・実践を推進し【7月～9月・随時実施】。その成果は教科主任会【通年・隔週実施】や全体研修【10月】で共有・協議し、継続的な改善に生かす。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 生徒の視点授業に反映するための意見収集と対話の場の体系化が課題である。 <指導上の課題> 教職員間の共通認識形成に向けた対話と時間の確保が課題である。	校内研究と連携し、学ぶ側の視点に立った授業観察の実施および生徒も交えた校内研修を行う【7月～9月・随時実施】。学期ごとに生徒へのアンケート調査の実施及びフォーカスグループに対するインタビューの実施とその分析を行い、指導改善に活用する【10月・3月/年2回】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①調査問題の解説 ②振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)